

会報

第2号 昭和60年12月1日発行

ああ、鬼頭光男君

OB会名誉会長

柴垣 芳太郎 (一中60回)

一中籠球部の思い出となると、五十年近く過ぎた現在でも、次から次へと色々な事が頭に浮んでくる。今回は、その中でも最も印象の強い思い出の一つだけ書いてみよう。

それは鬼頭光男君のことである。籠球部が創立されて三年目を迎えようとしていた昭和十一年初春のこと、私は五年生に、彼は二年生になるところであった。前年秋季第三部リーグで、創立一年半のわが部が優勝を果たし、第二部昇格が決まっていた、全員が張り切っていた。私も本来なら引退して受験に専念すべき年であったが、経験者が少なくチーム編成のため、同級の杉山淳策君と二人が現役を続けることになっていた。二葉ヶ丘のコートは、雨天体操場であった

が、ミドルシュートさえ天井の梁にぶつかると、晴天の日の練習は屋外コートを使っていた。ゴールポストも移動式のため、支柱がラインすれすれで、ランニングシュートの折角度によってポストに衝突することがよくあった。春休みの練習中、私はポストの下の木枠に足を取られ、横棒に倒れこみ、自分の体の重みで右腕の骨折をしてしまった。

悪い時には悪い事が続くもので、私の欠席中に、二年生で最も囑望されていた鬼頭君が怪我したとの話を聞いた。その時は、ジャンプして膝関節を痛めた程度と聞き、大した怪我でなくてよかったと考えていたのが、その後化膿して大腿部から切断、更にその手術で破傷風菌が入り命を亡くす事態にまでなってしまった。

病院へ何人かが見舞いに行ったが、骨折中の私は遠慮し、いざれ回復して一緒に練習できるものと信じていた。それが、不幸が重なって不帰の客となってしまった。その上、折悪く、私の幼い弟も亡くなって、葬儀にも出席できなかった。

後で聞いた話によると、彼は私にとっても会いたがっていたそうで、恐らく彼は遺言として残した言葉を、直接私に語りたかったのだらうと思われ、今でも思い起こす毎に残念至極で胸が痛くなる。

彼の遺言は、「はじめ、籠球部は新しい部で肩身の狭い思いをしていたが、日が経つにつれて、一中の数ある部のなかで、これほどいい部はないと思うようになった。弟は必ず一中に入れて籠球部員にしてくれ」というものであった。

三十五日の法要の日であったが、これをお母さんの口から聞いて、一同胸を打たれて言葉もなく、間近に迫った二部リーグでの優勝を固く心の中で誓いあった。

試合にはいつも彼の遺影をベンチにもちこみ、全試合とも一点又は二点差の大接戦の末奇跡的に連続して第二部でも優勝を果たすことができた。彼の霊の加護と部員一同結束の賜といえよう。

今の若い人達から見たら、さぞ浪花節的と笑われそうであるが、よき時代の純粋な若者たちの貴重な青春の一コマであった。

よき友

川本 賢二 (旭丘8回)

まん丸のバスケットボールを手にしてから四十年になりました。みなさん元気ですか。旭丘高校バスケットボールOB・OG会も発足以来十二年たちました。念願であった愛知一中と旭丘高校のバスケットボールOB会とのドッキングも成就し喜んでいきます。大山会長はじめ役員の皆様にお礼申しあげます。

旭丘高校のバスケットボールOB・OG会は「川村正実君(18回生)の父」川村正一氏のご好意により資金をいただき、何とか誕生いたしました。その節には絶大なご協力を賜りありがとうございました。川村君は前津中学校時代での私の教え子でした。父親の勧めでバスケット部に所属し、勉強とスポーツの両立を成遂げ、体格・性格共に素直に成長してくれました。お父さんは「高校ではチームプレーではなく個人競技をやらせ、たくましく鍛えたい人間に育てる」と云っておられました。しかし結局は旭丘高校でバスケットボールをやりました。浪人生活もやり大学を卒業した川村君が中学校の大会に審判をやりに来た彼に会った時、幅の広い人間に成長してくれたことを頼もしく感じました。川村の父子は私にとってもすばらしい先生でした。教師になって三十年になります。先生は先生にいろいろな事を学びました。生徒は先生にとって、す

第2回新年会のお知らせ

恒例の新年会を下記の要領でとり行います。是非御参加下さい。

愛知一中・旭丘バスケットボール部OB会
会長 大山隆久 (5回)
連絡先 大城 誠 (35回)
TEL 052-911-8064

記

新年会 1月2日 於 旭丘高校小体育館(正門南)
12:00 OB対OB戦 14:30 総会
13:00 OG対現役戦 15:00 OB対現役戦
13:50 超OB戦(35才以上) (同時にパーティやフリースロー大会も行います。)

・当日受付にて、OB会年会費(1口1,000円)とパーティ代(1,500円)を集めます。OB会年会費については、就職された方はなるべく2口以上お願いいたします。また都合のため当日出席できない方も同封の振込用紙でOB会費はぜひ納入して下さい。
・出欠ハガキを12月20日迄に御投函下さい。

ばらしい教師であり、よき友であります。それも私が愛知一中・旭丘高校でバスケットボールをやったお蔭です。中学・高校・大学で親友ができ、教員になってよい生徒、よい同僚にめぐまれました。同窓会というのはどうでもよい会であると同時に私にとってはとても大事な会であります。特にバスケットボールは人間的な財産をくれました。OB会も来年は岩城氏(七回生)が会長をやっていただけるようです。旭丘高校の現役の活躍を期待しながら、よき友達として一生同行できますことを祈願いたします。同好の志のご健勝を祈ります。

愛知一中・旭丘バスケット部OB会 会計報告

1 60年度決算報告〔監査役、小森治雄氏(一中62回)承認済〕
(昭和59年10月20日～60年9月30日)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|-----------------|------------|----------------------------------|------------|
| 年会費(306名分) | 654,000円 | 通信費 | 148,670円 |
| 総会のパーティ代(125名分) | 125,000 | 印刷費 | 21,600 |
| 部誌・名簿代(253名分) | 441,000 | 事務費 | 86,419 |
| 寄付 | 134,400 | 会議費 | 36,916 |
| 旭丘同窓会よりの補助金 | 30,000 | 事業費 | 312,188 |
| 旧旭丘OB会の残金 | 26,828 | 事業費 { 新年会 193,308 その他 123,848 | |
| 利息 | 921 | 部誌・名簿印刷・発送費 | 572,424 |
| | | 繰越金 | 278,959 |
| 合計 | 1,412,144円 | 合計 | 1,412,144円 |

2. 61年度 予算

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|------------------|----------|----------------|----------|
| 前年度繰越金 | 278,959円 | 通信費 | 126,000円 |
| 年会費(2,000円×200人) | 400,000 | 印刷費(会報など) | 94,000 |
| 合計 | 678,959円 | 事務費 | 20,000 |
| | | 会議費 | 20,000 |
| | | 事業費(新年会の補てんなど) | 60,000 |
| | | 現役補助金 | 30,000 |
| | | 名簿作成準備金 | 50,000 |
| | | 繰越金 | 278,959 |
| | | 合計 | 678,959円 |

- 注 1. 本年度より新年会は独立採算とします。
 2. OB会員数は、約813名です。
 3. 年会費1口1,000円、就職された方はなるべく2口以上お願いします。

現役より

今年は蘇光館の改装工事のため練習が思うようにできず、三菱の養和会館などを借りて練習しておりますが、やはり時間制限のためもあり充分ではありませんので、2年生を中心とし筋トレをし、未来!?のために体力をつけております。ボールを使った練習も時間が少ないながらも和気あいあいとがんばっております。しかし、所心の試合結果があまりかんばしくありません。もしおひまでしたら御指導のほどお願い致します。

▷今年も、あのココロ館も改装中で、近くの三菱電機の御好意で、とて立派な体育館を使わせていただいております。当然、いつもより練習時間は短くなりがちですが、外練習や朝練で補っています。一生懸命練習しているわりには、成績は思わしくありません。今、この限られた時間の中で欲しいものは、要領の良い練習とコーチです。練習の方は男子に教えてもらったり、他校の練習方法をまねたりできますが、コーチはどうにもなりません。OB、OGの方の中で、どなたか時々お願いできないでしょうか... バスケ部 好部長

OB会 活動報告

- 今年度のOB会の活動は次の通りです。
 59年10/20 一中・旭丘有志の集まり
 一中と旭丘のOB会の一体化の話し合い。
 11/17 旭丘OB会年次代表者会
 旭丘OB会の組織作り(役員選出)
 11/28 一中・旭丘OB会役員会
 OB会規約や役員決定
 60年1/2 新年会と総会(旭丘高校にて)
 懇親会(国際ホテル)主に一中OB
 5/25 春の役員会(四校リーグのこと)
 7/7 OB会報第一号発行
 8/3 四校リーグ前夜祭(願和園)
 24名参加、少数ながら話が弾みました。
 8/4 四校リーグOB戦、若手OBが質、量とも他校を圧倒、OB戦優勝!
 11/2 秋の役員会(今年度の反省)
- 合同OB会が発足して、あつという間に一年が過ぎてしまいました。多くのOBの積極的な協力によって部誌の発行も無事に済み、二頁で報告したように二十余万の蓄えもできました。しかしこれからは正念場です。OB会の目的である母校バスケット部の発展に寄与すべき活動は何一つ出来ませんでした。61年度はこのことを是非実行していきたいと思っております。母校のため、現役のために何ができるか? 1. 練習、試合に顔を出して、応援やアドバイスをする。
 2. OB会費より現役が必要とする物に補助していく。(予算に組み込みました。)
- 今以上に多くのOBの力を結集して、OB会の歩みを着実なものにしたいと思います。出陣して下さい。そして会費を納めて下さい。

編集責任者

服部保孝(25) 丹下雅博(27)
 近藤耕司(29) 大城誠(35)